

チャレンジ ぼうさい in 原

原市民センターの役割



I 廿日市市 原は どんどこ？



原地区人口・世帯データ

地区人口 約1500人
老年人口 約600人
地区世帯 約730世帯
(高齢者単身世帯206世帯)

原小学校児童数 52名

国道433号線開通

**交通利便性の向上
人口増の兆し**

田舎暮らしの魅力を伝える「原」の魅力を伝える

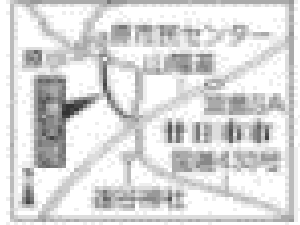
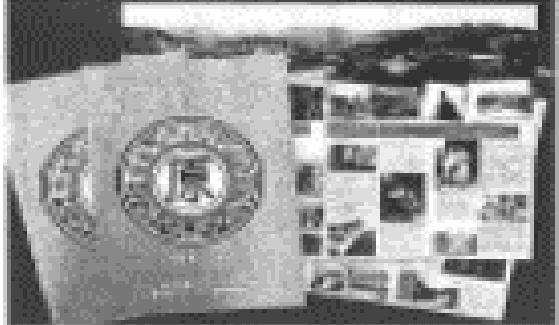
移住者じわり 原地区で増加

廿日市市原地区で移住者がじわり増えている。地区と市街地をつなぐ国道が2015年に開通して利便性が増したのを機に、約10世帯が移り住んだ。大半が子育て世帯で地元小学校の児童数は約1.5倍になった。住民組織「原地区コミュニティ推進協議会」は冊子を作り、「ちょっといい田舎暮らし」をアピールしてさらなる移住者増を目指す。(瀬戸新志)

利便性向上で家族連れ



原地区の風景。国道10号が開通し、利便性が向上している。



原地区は、廿日市市街地から車で約15分。国道10号が開通し、利便性が向上している。移住者が増え、地元小学校の児童数は約1.5倍になった。住民組織「原地区コミュニティ推進協議会」は冊子を作り、「ちょっといい田舎暮らし」をアピールしてさらなる移住者増を目指す。

原地区は、廿日市市街地から車で約15分。国道10号が開通し、利便性が向上している。移住者が増え、地元小学校の児童数は約1.5倍になった。住民組織「原地区コミュニティ推進協議会」は冊子を作り、「ちょっといい田舎暮らし」をアピールしてさらなる移住者増を目指す。

春

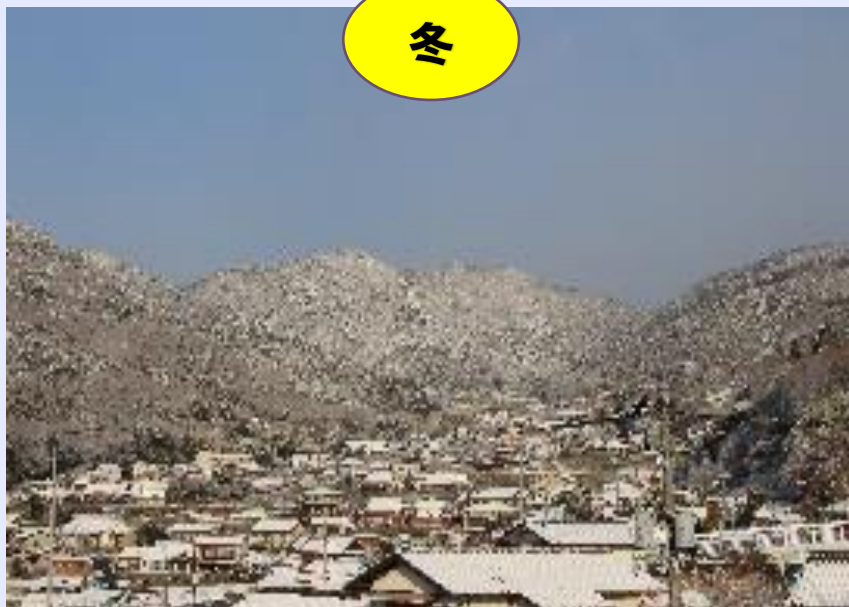


極楽寺山を屏風絵に
東を流れる長野川
西を流れる川末川
春は桜 花吹雪
夏は青葉 入道雲
秋は棚田 黄金色
冬は北風 雪景色
ぶらり歩いて
見渡せば
四季折々に
風情あふれる 原の里山

秋



冬



Ⅱ 原地区における過去の災害事例

1951年 ルース台風での家屋倒壊



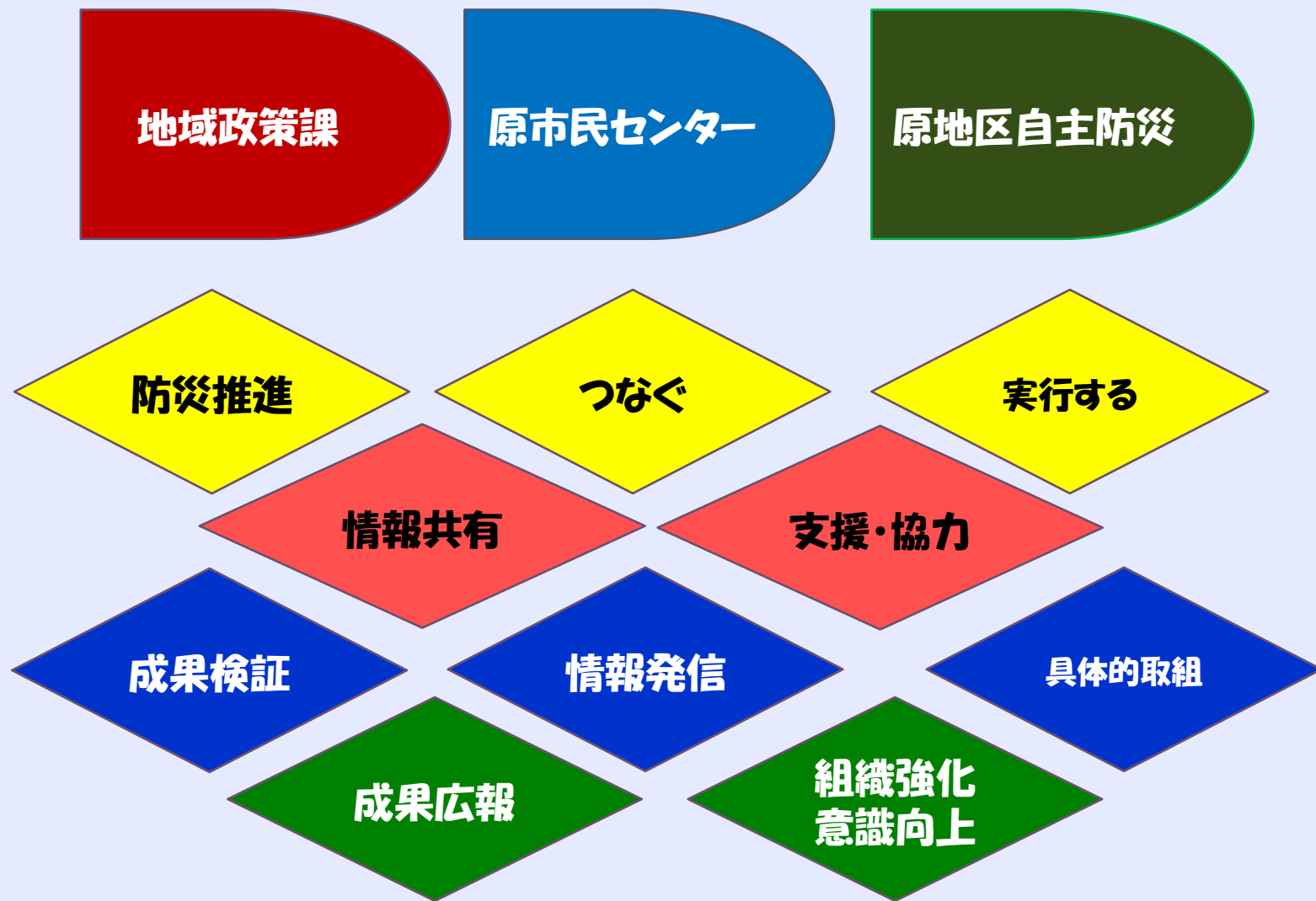
1999年 大雨による河川氾濫



2018年7月 西日本豪雨 土砂崩れ



Ⅲ 三者連携の役割と期待される効果



IV チャレンジプログラムの作成

核となる取り組み

各種団体との連携

キャラクター作成

毎月のセンター便りに
防災コーナー記事

既存の地区行事との
抱き合わせを基本に

平成30年度 チャレンジ ぼうさい In 原

「防災はらっこくん」



安全・安心なまちづくりのために、
「災害を知る」「地域を知る」「人を知る」
ことからはじめませんか。

【主催】

- ★原地区自主防災会
- ★原市民センター
- ★廿日市市自治振興部
地域政策課

【お問合せ先】

原市民センター

全家庭配付

チャレンジ防災とは…
地元の自主防災組織が1年間を通して行う様々な防災訓練に参加し、災害時における身の安全の確保に加え、初期消火や救出・救助など実践的な行動を学ぶものです。

日時	事業	内容	場所
5/20 (日) 9:00~	市民運動会 (オープニング)	バケツリレー 担架リレー	原小学校
6/23 (土) 10:00~12:00	救命講習会 参加費あり!	心臓マッサージ AEDの使い方	原市民センター
9/1 (土) 17:00~19:00	まごころまつり	防災グッズ展示	ケアハウス まごころ半明原
10/28 (日) 8:45~14:30	原和くちくまつり	防災グッズ 防災パネル展示	原小学校
2/17 (日) 10:00~12:30	防災訓練・講習 参加費あり!	防災出前トーク、 煙体験、 非常食試食 など	原市民センター

※詳しい情報は市民センターだよりなどでお知らせしていきます。

対象

- ・原地区在住の小学生以上の方及び在勤の方
- ・原地区が災害協定を結んでいる3施設の入居者及びご家族
 - ふれあいライフ原
 - ケアハウスまごころ半明原
 - 特別養護老人ホーム清鈴園



平成30年度 チャレンジぼうさいin原

「災害を知る」「地域を知る」「人を知る」ことからはじめません

原地区では、今年度より2年間、自主防災会を中心に「チャレンジ防災」に取り組むことになりました。各家庭にそのチラシが配布されるのに加え、5月20日(日)の市民運動会では、「防災地区宣言」を行い、広く周知していきます。

地震や河川の氾濫、土砂崩れなどの災害はいつどのような形で起きるか予測できません。災害時の身の安全確保に加え、初期消火や救出・救助、炊き出しなど自助活動ができる知識と実践的な行動力を身につける必要があります。大人から子どもまで全ての地域住民一人一人が、いざという時に備えて高い防災意識をもって、防災訓練や講習会に積極的に参加していきましょう。

市民センター便りでは、「防災はらっこくん」(岡村珠美さん著作)のキャラクターにも親しんでもらいながら、年間を通してお知らせや活動の様子など情報発信をしていきます。

【主催】原地区自主防災会
原市民センター
廿日市市自治振興部地域政策課
【お問合せ先】原市民センター

【お問合せ先】原市民センター
☎ (0829) 39-0227 FAX: (0829) 39-0314



「チャレンジぼうさい」は、原地区の防災意識を高め、災害時の自助活動や互助活動の推進を図ることを目的として、今年度より2年間、原地区の自主防災会を中心に「チャレンジぼうさい」に取り組むことになりました。各家庭にそのチラシが配布されるのに加え、5月20日(日)の市民運動会では、「防災地区宣言」を行い、広く周知していきます。

原地区の自主防災会
原市民センター
廿日市市自治振興部地域政策課
【お問合せ先】原市民センター
☎ (0829) 39-0227 FAX: (0829) 39-0314



原地区の自主防災会
原市民センター
廿日市市自治振興部地域政策課
【お問合せ先】原市民センター
☎ (0829) 39-0227 FAX: (0829) 39-0314

～5月の行事予定～

1日(火)	いきいき百歳体操	10:00～
	花俱楽部 運動日	9:00～
8日(火)	一光大学(大)聴覚盲児学	9:40～
	いきいき百歳体操	10:00～
9日(水)	はらきっず	9:30～
	はらぼとサロン	13:30～
15日(火)	いきいき百歳体操	10:00～
	健康科後	13:30～
16日(水)	はらきっず/はらきっず+いっしょ	10:00～ 15:00～
	原まちづくり委員会	19:30～
22日(火)	いきいき百歳体操	10:00～
23日(水)	はらきっず	9:30～
25日(金)	移動図書館車 たんぽぽ号	11:40～
	企画運営委員会	18:30～
29日(火)	いきいき百歳体操	10:00～
	健康科後	13:30～
30日(水)	はらきっず	9:30～

◆休館日: 5/3(木) 憲法記念日
5/4(金) みどりの日
5/5(土) こどもの日

編集:原市民センター 〒738-0031 廿日市市原 439-2
TEL: 39-0227 FAX: 39-0314
※センターだよりは、ホームページでもご覧いただけます。
廿日市市原市民センター

平成30年度
チャレンジぼうさい
「災害を知る」「地域を知る」「人を知る」

原地区では、今年度より2年間、自主防災会を中心に「チャレンジ防災」に取り組むことになりました。各家庭にそのチラシが配布されるのに加え、5月20日(日)の市民運動会では、「防災地区宣言」を行い、広く周知していきます。

地震や河川の氾濫、土砂崩れなどの災害はいつどのような形で起きるか予測できません。災害時の身の安全確保に加え、初期消火や救出・救助、炊き出しなど自助活動ができる知識と実践的な行動力を身につける必要があります。大人から子どもまで全ての地域住民一人一人が、いざという時に備えて高い防災意識をもって、防災訓練や講習会に積極的に参加していきましょう。

市民センター便りでは、「防災はらっこくん」(岡村珠美さん著作)のキャラクターにも親しんでもらいながら、年間を通してお知らせや活動の様子など情報発信をしていきます。

【主催】原地区自主防災会
原市民センター
廿日市市自治振興部地域政策課
【お問合せ先】原市民センター
☎ (0829) 39-0227

◆原典の買取りのお知らせ(主任主事)◆
原市民センターの新しい主事の原典 高以節は、中央・国内・友和の各市民センター。原は、初めてなので、土地勘もなく、皆の監督主任主事御座りよろしくお願ひをV

V チャレンジぼうさい取組の様子

5月市民運動会



平成30年度 チャレンジぼうさいin原

「災害を知る」「地域を知る」「人を知る」ことから始めませんか。

熱戦!! 防災リレー

5月20日(日)の市民運動会では、担架リレーと消火バケツリレーが行われました。毛布を使った応急担架の作り方を教わり、参加された方は実践しながら声をかけあいながら、安全かつ迅速な行動で競技を楽しまれたようです。



救命講習会 参加者募集!

日時 6月23日(土)
10:00~12:00
場所 原市民センター 大研修室
内容
・心臓マッサージ
・AEDの使い方
・けがの応急手当
・気道異物除去
講師 廿日市市消防署 救急隊員
対象 原地区在住・在勤の方
(小学生以上)
参加賞 参加された方全員
申込 6月16日(土)までに原市民センター窓口または電話
で手続きください。



チャレンジ
ぼうさい宣言

自主防災
+
体育部

6月救命講習



6月 のぼり旗作成



自主防災
+
町内会

9月 保学合同避難訓練

自主防災
+
小学校・保育園



**10月 市民センターまつり
パネル展示**



**自主防災
+
市民センター・
小学校**

**防災マップ
過去の災害事例
非常食プレゼン**

11月 炊き出し訓練



交流ウォーキング参加者への
昼食として
おにぎり・豚汁
を提供



オール原

(コミュニティ・体育協会・女性会・老人会・
自主防災会・市民センター)

2月 防災訓練・講習会



**自主防災・地域政策課
+
消防団・消防署**

2月 アンケート調査実施

チャレンジぼうさい in 原アンケート調査

ご自分のことについて あてはまる番号に○をつけてください。

- 性別 1 男性 2 女性
- 年齢 1 小学生 2 中・高校生 3 19～39歳
- 4 40～65歳 5 66歳～



1 今日の防災講習会に参加してどうでしたか。 (よければ選んだ理由を書いてください)

- 1 よかった 2 どちらともいえない 3 よくなかった

理由

2 チャレンジ防災の行事に参加しましたか。(参加したものに全部○をしてください)

- 5月市民運動会 (バケツリレー・担架リレー) 6月救命講習会

1 0月原和く輪くまつり (防災展示コーナー) どれも参加していない

3 昨年は災害の多い年でした。あなたの災害に対する意識は以前とくらべてどうですか？

- 1 前より意識が高くなった 2 さほど変わらない 3 前より意識が低くなった

4 原地区に住んでいて最も危険を感じる災害は何だと思えますか

- 1 地震 2 河川の氾濫 3 土砂崩れ 4 火災 5 強風による家屋倒壊

6 その他 ()

5 災害に対してあなたは何か対策をしていますか。 (例：家具の転倒防止、防災ク

- 1 対策をしている 2 特

具体例

検証と評価
↓
次年度への改善

6 原地区防災の取組に対するご意見やご要望があればお書きください。

ご協力ありがとうございました。

V 災害に負けないまちづくりをめざして

平成30年(2018年)の原市民センターへ避難者数

河川増水
倒木による交通遮断
家屋裏手土砂崩れ
棚田石垣崩壊

7月6日(金) ~ 8日(日)	西日本豪雨	< 71名 >
7月27日(金) ~ 29日(日)	台風12号	< 1名 >
9月3日(月) ~ 4日(水)	台風21号	< 0名 >
9月29日(土) ~ 30日(日)	台風24号	< 1名 >
10月5日(金) ~ 6日(土)	台風25号	< 0名 >

地区自主防災会議における振り返り

- 避難者が多かったのは、防災意識が高まったことも一因である
- 高齢者は家にとどまっている状況が見られる
- 避難行動要支援者のリストはあっても実動化できていない
- 実際に避難行動を促す仕組みや体制をつくる必要がある

VI 市民センターの果たす役割 まとめ

行政と地域のつなぎ役

地区自主防災と地域団体とのつなぎ役

地区自主防災と地域住民とのつなぎ役

支援と提供(活動場所・企画・情報発信)